

資源物・危険ごみ・燃やせないごみの収集状況について

廃棄物対策課

○ 収集運搬業務の一括委託(平成22年10月先行実施)

効率化のため、大型ごみ収集を含め、全てのごみ・資源物の収集運搬業務を一括して委託した。

○ 資源物・危険ごみの同日収集(平成22年10月先行実施)

排出日間違い解消及び市民の利便性の向上のために、危険ごみの収集を資源物の収集日と同一日とした。危険ごみの収集量が前年より増加したが、これは収集回数の増加により、これまで燃やせないごみとして排出されていたものが、適正に分別されたものと思われる。

このことは、昨年11月に実施したごみの組成分析で、「燃やせないごみ」の中の「危険ごみ」の割合が0.8%から0.3%に減少している結果が出ている。

単位:トン

区分	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	合計
H21/9～H22/4	4.71	4.81	4.86	6.72	4.58	3.32	4.08	5.47	38.55
H22/9～H23/4	5.21	8.15	6.61	7.81	4.98	4.34	4.74	6.29	48.13
増減率(%)	10.6	69.4	36.0	16.2	8.7	30.7	16.2	15.0	24.7

○ 燃やせないごみの収集回数の見直し(平成22年10月先行実施)

年末年始や引越シーズンの春先等の多量排出となる時期を除き、週1回から月2回に変更した。

平成22年10月から、1mを越える「ソファ」や「自転車」などが大型ごみとなり、直接ごみステーションに出せなくなる事と多少負担増になることから、駆け込み排出行動がみられ、9月が前年比41.9%増となった。この反動で、10月が35.3%の大幅減となり、2月以降は概ね14%減で推移している。一方、大型ごみ・危険ごみを含めた収集量は、前年比で大きく変動してないことから、大型ごみへの移行が見られる。

見直し当初は、市民から収集日以外にごみを排出し「収集に来ない」とのお問い合わせがあったが、6ヶ月を経過し現在は減少していることから、浸透したものと思われる。

単位:トン

区分	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	合計
H21/9～H22/4	186.36	183.84	170.58	214.40	112.40	95.21	179.35	222.79	1,364.93
H22/9～H23/4	264.43	119.03	114.31	218.76	76.39	82.16	154.14	187.48	1,216.70
増減率(%)	41.9	▲35.3	▲33.0	20	▲32.0	▲13.7	▲14.1	▲15.8	▲10.9

※市街地のみの収集量